

□ トピック □ 怖い肺炎症

気温が高い日が続くようになりました。そろそろエアコンの稼働率が上がってくる時期ですが、定期的なエアコンの清掃はされているでしょうか？

特にエアコンフィルターはカビの発生しやすい場所でもあります。一般的なカビは湿度が60%を超えると発生しやすくなり、80%を超えるとあっという間に増殖してしまいます。冷房使用時の室内のエアコンの中は湿度が99%であり、好湿性のカビが発生するのに好条件となってしまいます。

怖いことに、カビの胞子を何度も吸い込むことによって、アレルギー反応が起き、肺炎を発症することがあります。これは夏型過敏性肺炎といい、エアコンにも発生する *Trichosporon cutaneum* というカビの胞子が原因で起こる肺炎です。このカビを吸い込んだからといってすべての人が肺炎になるわけではありませんが、アレルギーとして症状が出る場合、少量の病原体に接するだけでも重篤な症状になる可能性があります。日本では、東北よりも西日本に、男性より女性に多い傾向があります。これは、梅雨以後の高温多湿の季節に起こることが多いこと、家庭内の滞在時間が長く、カビとの接触時間が長くなってしまふこと等が理由としてあげられます。日頃からエアコンの清掃に気を配ることをお勧めします。

□ お知らせ □ ディーエス・ミスター

虫、カビや微生物が増えやすい時期になりました。こんな時期にお勧めしたい弊社の新商品があります。レンタル専用ミスト機のディーエス・ミスターです。これは、液化炭酸ガス(CO₂)を噴射ガスとして使い、圧力によって、高濃度のアルコールを噴霧するというシステムです。アルコール製剤を超微粒子にして噴霧するので、広範囲を容易かつ効果的に消毒することができます。噴射されるアルコールミストは、公益社団法人産業安全技術協会によって引火性がないことが証明されています。微小昆虫の防除、食品・医薬品工場の殺菌、医療現場の感染症予防、宿泊施設の消臭・殺菌などさまざまな用途に使えます。

実際に某製薬工場で使用し、チャタテムシの捕獲数が激減しています(右図)。殺虫剤を使わない防虫対策として使われてみてはどうでしょうか？ご質問やご相談がございましたらお気軽にお問い合わせください。



某製薬工場でのチャタテムシ捕獲数推移



□ 豆知識 □ 花火

この時期は夏祭りや花火など外でのイベントごとが多い季節です。頻繁に水分補給をするなど日射病や熱射病などには気をつけてください。

さて、夏の風物詩でもある花火ですが、歴史についてご存知でしょうか？日本で初めて花火を鑑賞したのは徳川家康と言われています。一部には伊達政宗とする説もありますが、家康とする説が一般的であるようです。当時の花火は筒から火の粉が吹き出すもので、現在のような花火になったのは、塩素酸カリウムやマグネシウムなどが発見された後だそうです。

八代将軍吉宗の頃、前の年に享保の大飢饉が起り、コレラが大流行しました。犠牲になった人の慰霊と悪病退散を祈り、隅田川で水神祭が開かれたときに花火があげられました。これが、日本でもっとも有名な隅田川花火大会の前身である両国花火です。このことがきっかけで、花火を夏にあげることが恒例になったようです。

なぜ花火大会が夏に定着したのかについて疑問をもたれていた方も多かったのではないのでしょうか。花火には鑑賞の意味だけではなく、様々な人の祈りや思いが込められていることを心にとめておいてください。



打ち上げ花火



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社：岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点：大阪、姫路、岡山、倉敷、福山、広島、高松、松山
関東(市川)